

# 宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	方向性冠動脈粥腫切除術後に薬剤コーテッドバルーンで治療した群と薬剤溶出性ステントで治療した群の中期成績の比較
当院の研究責任者 (所属)	本田 泰悠 (循環器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	当院のみで行うため、該当者なし
本研究の目的	方向性冠動脈粥腫切除術は冠動脈の狭窄の原因となるプラークを切削することができる唯一のデバイスであり、この方向性冠動脈粥腫切除術と薬剤コーテッドバルーンを用いた経皮的冠動脈形成術は冠動脈ステントを用いない新しい治療法として期待されており、現在その有用性や安全性が報告され始めています。しかし、まだ実臨床でのデータは乏しく、さらなる検証が求められています。そのため当院にて、方向性冠動脈粥腫切除術を施行した方の治療成績や予後の解析を行います。
調査データ 該当期間	2016年1月から2022年9月に労作性狭心症で経皮的冠動脈形成術を施行時に冠動脈粥腫切除術を行った方
研究の方法 (使用する試料等)	経皮的冠動脈形成術施行時の造影や血管内超音波のデータの解析と、術後の再狭窄や心筋梗塞発症の解析を行います。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当院のみで行う研究であり、他の研究機関への提供はありません。
個人情報の取り扱い	本研究が対象とする試料等に付随する個人情報については下記の通りに管理します。 1) 集積データ・解析データの項目：カルテなどの医療記録にて臨床情報収集します。 2) データの保管方法とその件数：外部と接続を一切しない専用の管理サーバー及びPC端末に保存し、臨床情報である人数分の調査票に関しては厳重にセキュリティロックを掛けた場所に保管します。 3) データの保存媒体の安全管理方法：アクセス制限と使用者認証によりシステムを管理し、専用のPC端末には盗難防止の措置を施します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を行うにあたり、企業からの資金提供はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院 循環器内科 研究責任者 本田泰悠 柴田剛徳 電話番号 0985-77-9109
備考	